

令和6年度における業務実績に関する評価表(全体評価)

資料5

大項目名	評価の記号	評点	評価比率	$\alpha \times \beta$	評価の記号	全体評価に関するコメント
	(大項目評価) ※1	(α) ※2	(β) ※3		(全体評価)	
第2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	—				別紙のとおり
	1 教育		15%			
	2 学生の確保と支援		10%			
	3 研究		10%			
	4 地域・社会貢献		15%			
	5 平和		10%			
	6 国際化		10%			
第3	業務運営の改善及び効率化等に関する目標を達成するためとるべき措置	—				
	業務運営の改善及び効率化		10%			
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	—				
	財務内容の改善		15%			
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置	—				
	自己点検、評価及び情報の提供		2.5%			
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置	—				
	その他業務運営		2.5%			
計				※4 #####		

(注) ※1 「評価の記号(大項目評価)」は、各大項目の評価結果を「SABCD」の5段階で記入してください。

※2 「評点」は「評価の記号(大項目評価)」と連動します。S=5点、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点

※3 評価比率は、令和4年度の評価委員会で決定したものです。

※4 「評価の記号(全体評価)」は、次のとおり、この数値($\alpha \times \beta$ の計)と連動します。

$\alpha \times \beta$ の合計=Xとすると、S・・・ $4.5 < X$ A・・・ $3.5 < X \leq 4.5$ B・・・ $2.5 < X \leq 3.5$ C・・・ $1.5 < X \leq 2.5$ D・・・ $X \leq 1.5$ となります。

全体評価に関するコメント

○大学の自己評価と一致した。大学や大学院の入学試験の改革の取り組みが今後の学生の確保につながることを期待する。ハラスメント対策の取組も進んでいるようなので、よりよい環境で学生や教職員が学び、研究に専念できる大学として改革が進んでいるものと評価した。

○学部・大学院の三つのポリシーを見直し、教育の質を高める体制を整えた点は評価できる。「広島発の平和学」の実現に向けた地域や国際との連携も、着実に進んでいる。科研費の獲得は改善していますが、件数や金額をさらに伸ばすには、大学としての支援が不可欠である。研究を活性化するには大学院生の確保が重要であり、特に国際学研究科博士前期課程の定員未充足は深刻な課題で、早急な対応が必要である。大学運営ではデジタル化が進み、研究・芸術活動の可視化にも取り組んでいる。一方で、ハラスメントの発生は遺憾であり、根絶に向けた継続的な努力が求められる。また、女性教員の割合については、目標達成が難しい状況であり、早急な具体策が必要である。建学の理念に立ち返り、大学全体で課題解決に取り組むことを期待する。

○全般に、大学運営を丁寧な、そして着実に進めていると感じる。開学30年を経た現在、法人の概要(5)(第1回評価委員会資料【資料3】)目的について、国際性、創造性というキーワードをもう一段高めた長期ビジョンを策定していただけたら良いのではと思う。

○全体的には堅実な運営であると評価する。特に教育については色々な改善をしながら取り組んでいる姿勢が感じられる。学生の確保については、大学院の定員数を毎年下回っており、定員の再考が必要と考える。研究については、科研費の申請率の向上など成果もあるが、研究費の総額が増加していない点は今後も努力が求められる。

○広島市立大学の核である三学部・研究科がそれぞれの特徴をいかしつつ、広島市域を中心に社会に開かれた大学運営を行っていることが、高く評価できる。特に、近年外部資金の獲得にも積極的な方向性が見られ、期待できる。ただ、より大学の特徴を打ち出して積極的な教育研究活動を行っていくためには、より一層学部・研究科横断的な教育、研究事業、社会発信事業を組み立てていく必要がある。特に広島という場の特徴を活かして、平和研究を、それぞれの学部・研究科の共通軸とし、分野横断的、多角的に平和を考える取組を、市民の目にも可視化された形で展開していく努力が期待される(芸術学部の平和をテーマとした芸術作品と、原爆体験に関するオーラルヒストリーを組み合わせた展示を恒常的、連続的に実施するなど)。こうした発想のもとに、大学を挙げての大規模科研事業(Sや学術変革などの研究種目)に取り組む体制を、全学的に推進してはいかかと思う。